

大阪湾沿岸

海岸保全施設整備計画 20

ゾ ー ン 名	男里川～箱作ゾーン	エ リ ア 特 性	環境保全・親しみエリア
海 岸 名	下荘漁港	区 域	箱作
海 岸 タ イ プ	直立堤防、直立護岸	所 管	農林水産省（水産庁）
設 計 位 ( H . H . W . L )	T.P.+3.0m	波 高 ( H o )	2.9m
代 表 堤 防 高	T.P.+3.70m～T.P.+4.70m	現 況 の 堤 防 高	T.P.+3.35m～T.P.+4.72m
現 況 の 施 設	堤防等 995m、護岸等 23m、離岸堤 2 基、突堤 6 基		
海 岸 の 整 備 方 針	・防護機能の確保・環境の保全・周辺景観および利用との調和		
海 岸 の 目 標	海 岸 の 防 護	・高潮対策として堤防、護岸等の新設や嵩上げ等の改良を行い防護機能を確保する。	
	環 境 の 整 備 と 保 全	・周辺景観との調和、生態系や自然景観の保全に配慮する。	
	公 衆 の 適 正 な 利 用	・漁港利用の維持に努める。 ・多くの人達が海辺と親しむことができるよう、安全で快適なアクセス路の確保やバリアフリー化を進める。	
整 備 の 必 要 性	堤防、護岸等の未整備箇所や天端高の不足箇所について、高潮防護機能を確保する必要がある。また、砂浜の残る半自然海岸を保全し、多くの人が海と親しむことのできる海岸づくりが必要である。		
整 備 計 画 の 概 要	漁港利用の確保や周辺景観との調和、生態系や自然景観の保全に配慮しつつ、堤防・護岸等の新設や嵩上げ等の改良を行う。 (1) 整備海岸延長 : 420m (2) 整備内容 : 堤防・護岸等（新設、改良）		
住 民 意 見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・海浜植物の群生地である自然海岸の保全</li> <li>・防護と自然環境保全の調和</li> <li>・人工干潟の形成</li> <li>・海への眺望の確保</li> <li>・海へのアクセスのバリアフリー化</li> </ul>		
期 待 さ れ る 効 果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・堤防、護岸等の新設や嵩上げ等の改良により、高潮などから背後地の安全性の向上が図られる。</li> <li>・安全で快適なアクセス路の確保やバリアフリー化により、海への親しみが増す。</li> </ul>		
海 岸 管 理 に お け る 配 慮 事 項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・海岸保全施設の適切な維持管理や、高潮や津波などによる災害時の対応などソフト面の対策強化の推進</li> <li>・ゴミなどの不法投棄、汚損などの防止対策の推進</li> <li>・レジャーボートの放置、不法係留対策の推進</li> <li>・地域との協力による環境維持の推進</li> <li>・海岸利用者のためのマナー向上のための啓発活動の推進</li> <li>・海岸利用のルールづくりの推進</li> <li>・海岸愛護、ボランティア活動の支援</li> </ul>		

【現況写真】



【平面図】

< 凡 例 >

- 海岸保全施設の新設に関する工事を施工しようとする区域
- 既設の海岸保全施設の存する区域
- 既設の海岸保全施設の改良に関する工事を施工しようとする区域

